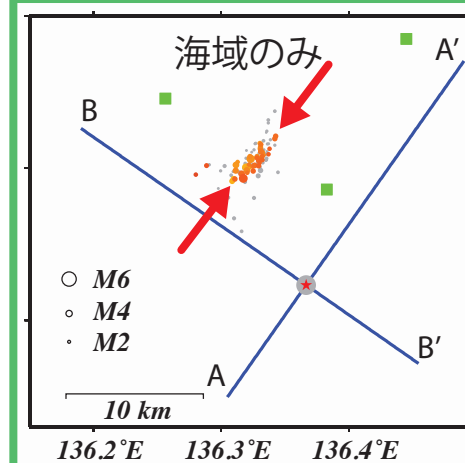
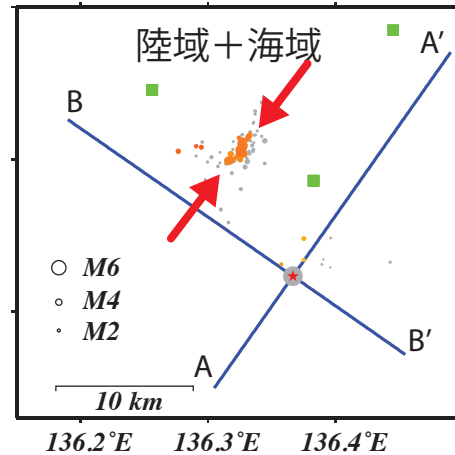
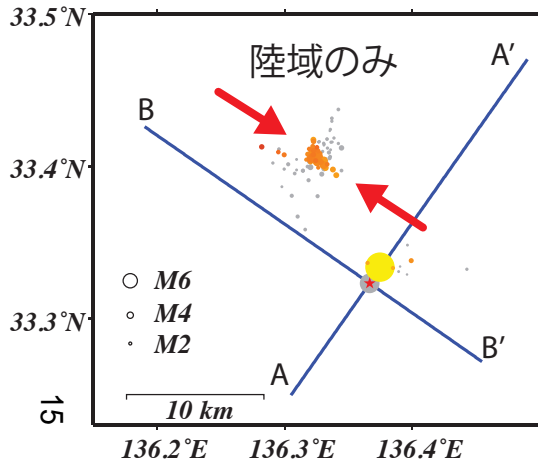
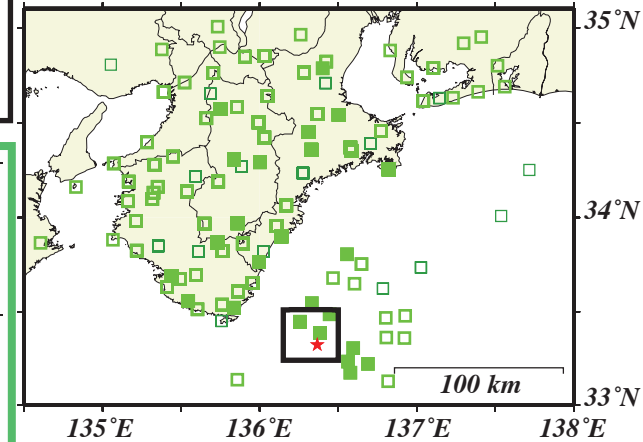
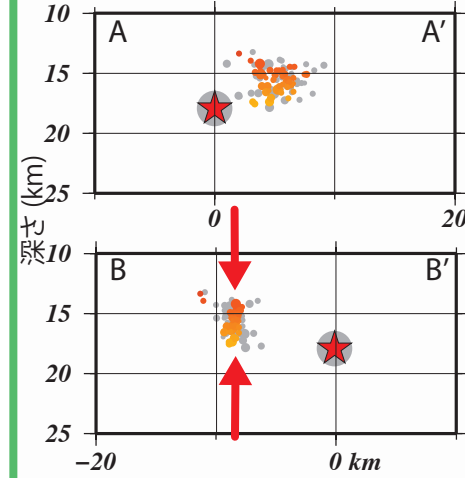
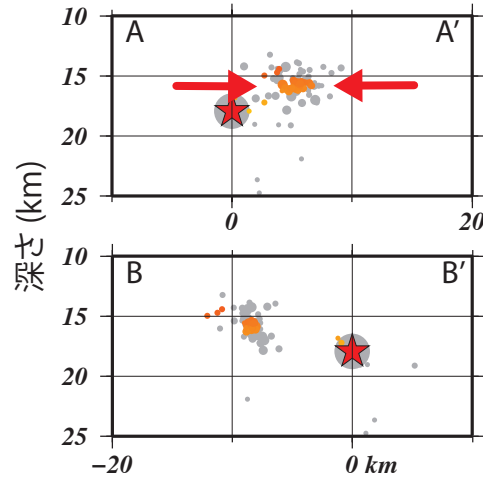
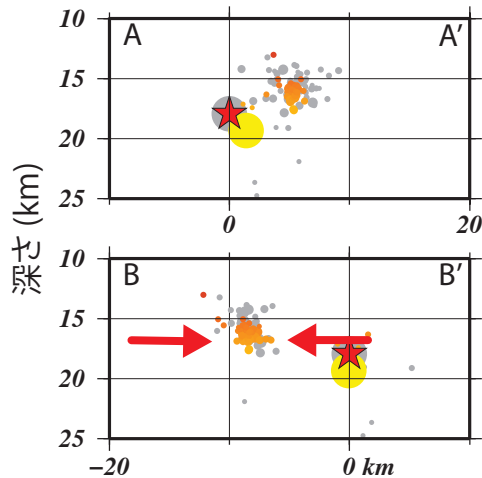


# 2016年4月1日三重県南東沖の地震による震源分布

- 本震を含む2016年3月1日から4月15日の防災科研Hi-netによる震源分布をDD法により再決定。
- 本震と余震は約10km離れている。
- 余震分布については、海域の観測点のみを使用した場合、北東-南西の面状 (図: 緑色の枠内)



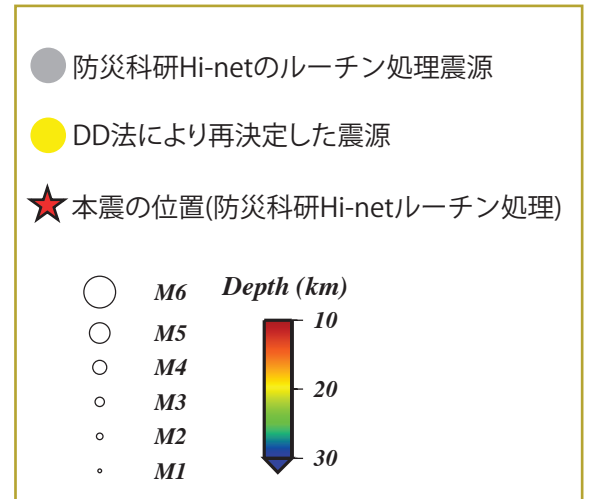
- 読取値のみ使用した観測点
- 読取値と波形相関を使用した観測点
- 左図に示す領域



本震から観測点の距離:  
約40-200km

本震から観測点の距離:  
約10-200km

本震から観測点の距離:  
約50km以内



謝辞: 本解析にあたり、東大地震研、京大防災研、産総研、および気象庁の記録も使用しました。